

渋川北群馬郡地域感染症発生動向調査情報（週報）

2026年第26週（2026年6月16日～2026年6月28日）

令和8年7月1日

★夏に向けた感染症対策

夏期に流行するウイルス性疾患の総称を夏かぜと呼び、手足口病、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱が代表疾患です。5月頃から、幼児を中心に流行しますが、大人が発症した場合に、症状が強く出ることがあります。

飛沫感染・接触感染に注意しましょう！

- ・原因ウイルスにはアルコールが効きにくいので、ハンドソープと流水でよく手を洗いましょう。
特にトイレやおむつ交換の後には念入りに！
- ・タオルなどは共有しないようにしましょう。

★腸管出血性大腸菌感染症に注意！

腸管出血性大腸菌感染症は、気温が高くなるこれからの季節に特に注意が必要です。

肉は中心まで十分に加熱し、生野菜はよく洗って食べましょう。

予防のために、石けんと流水で手を洗うことも大切です。

調理の前後やトイレの後は必ず手を洗いましょう。

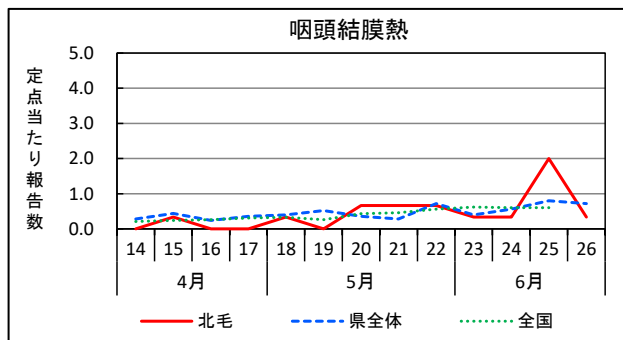
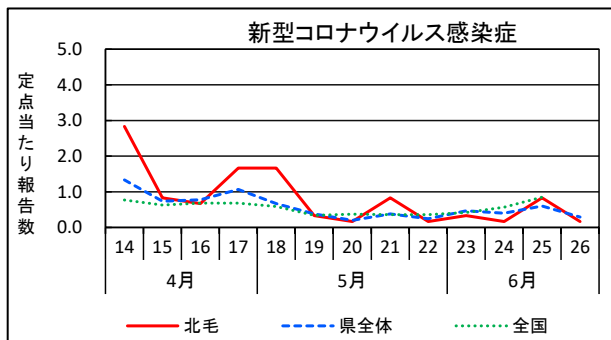
★全数報告疾患（渋川保健所管内）

報告はありませんでした

7/1
こころの日



（一社）日本精神科看護協会
心の看護便ネット



疾患別報告数一覧

上記グラフは、北毛地域の注目疾患について掲載しています。

急性呼吸器感染症（ARI）定点把握疾患及び小児科定点把握疾患			眼科定点把握疾患		
疾病名	定点当たり報告数		疾病名	定点当たり報告数	
	北毛	県全体		北毛	県全体
急性呼吸器感染症（ARI）※	18.83	64.53	急性出血性結膜炎	-	-
インフルエンザ	-	-	流行性角結膜炎	1.00	0.50
新型コロナウイルス感染症	0.17	0.29	基幹定点把握疾患		
R Sウイルス感染症	-	0.12	疾病名	定点当たり報告数	
咽頭結膜熱	0.33	0.72		北毛	県全体
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	2.68	細菌性髄膜炎	-	-
感染性胃腸炎	3.33	7.36	無菌性髄膜炎	-	-
水痘	-	0.20	マイコプラズマ肺炎	-	0.56
手足口病	0.33	2.56	クラミジア肺炎	-	-
伝染性紅斑	0.33	0.08	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	-	-
突発性発しん	-	0.72	インフルエンザ（入院患者）	-	0.22
ヘルパンギーナ	0.67	0.92	新型コロナウイルス感染症（入院患者）	-	0.22
流行性耳下腺炎	-	0.12			

感染症法に基づき実施されている感染症発生動向調査（群馬県）のデータを元に集計しています。

図表中の「北毛」は、渋川保健所管内・吾妻保健所管内・利根沼田保健所管内を指します。

※令和7年4月7日より、流行しやすい急性呼吸器性感染症の発生動向の把握、新興・再興感染症の早期探知を目的として、急性呼吸器感染症（ARI）が新たに追加されました。

●凡例 警報レベル 注意報レベル

より詳しい感染症情報は
群馬県ホームページで公開しています。



【お問合せ先】

渋川保健福祉事務所 保健係

E-mail : shibuhofuku@pref.gunma.lg.jp

TEL : 0279-22-4166